＊令和６年度第１学期始業式　式辞　（R6.4.8.月）

　皆さん、おはようございます。

　いよいよ今日から令和６年度の１学期がスタートします。

年次が一つあがり、新しいクラスが発表されて、これから新しいＨＲ担任の先生が発表されます。皆さんの心の中は、新年度に向けての大きな期待やあるいは不安に包まれていると思います。

学校生活はＨＲクラスや部活動を単位として活動していくことが基準となっています。当然のことですが、より良い学校生活を送っていくためには、その中での人間関係が重要になってくると思います。やはり

多くの友人や先輩・後輩と良好な関係を築くことができれば、学校生活も楽しく充実したものになりますね。

　そのような中で、私が皆さんに期待したいことは、この友高で過ごしていく中で、生涯の友人を作ってほしいということです。

　少し長くなりますが、私自身の生涯の親友の話をさせてください。この親友は同い年ですが男性一人、女性一人と私という３人組です。この３人ははじめ中学校２年生で同じクラスになりました。男性とはこの間に親友になりましたが、女性とはいわゆる同じクラスというだけで、あまり話しはしませんでした。この男性は中学校３年の時に、同じ西宮市内の別の中学校に転校し別々の高校に通いましたが、付き合いは続いていました。一方の女性とは同じ高校に通い３年生の時に再び同じクラスになりました。実は３人とも大学受験に失敗し、皆一浪を経験しました。男性とはその間も連絡を取り合いながら、女性とは同じ予備校に通い、お互いに大学合格後も京都方面の大学に通ったこともあり、時々阪急電車で一緒になりました。大学２回生の時に一度３人で会おうかという話になり、それ以来年に１・２回あっては飲食を共にしたり、ゴルフにいったりと、この３人組の付き合いも４０年近くになります。

　大学生の時は、互いの大学や恋愛などの話し、社会人になってからは互いの職場や仕事の話し、結婚、互いの家庭や育児、両親の介護や死別など、私たちが年を取るのに従って、その年代に応じた話や、中学生の昔話などで盛り上がります。

　そんな中で、私自身が本当に嬉しいことは、気の置けない仲間として、心から本音で話しができることです。お互いに関西人ならではのボケとツッコミを入れながらも笑い話ができる。恋愛や結婚の時など、互いにアドバイスを送ったりお祝いを行い合う。仕事の悩みや愚痴、親の介護のことなどしんどい話も共有できる。私にとってかけがいのない友人であり、これからも６０代、７０代とお互いに亡くなるまでこの関係は続いていくと思います。

　すでに、皆さんにそのような親友がいるならば、ぜひその関係を続けて、生涯の友としてください。これから新たな友人を作ろうとしている人は、僭越ながら私のような友人を作ってくれたら嬉しく思います。

親友はきっと皆さんの心の支えになってくれます。また、自分がその人の心の支えになります。このような素晴らしい人間関係を築いてもらえると、自分にとっても大きなプラスになると思います。

１学期には早速４月２３日に定期戦があります。また、６月には友高祭があります。そのような学校行事を機会として、クラス仲間が団結する、部活動が団結し、多くの友人をつくることを期待しています。

　皆さん、どうか毎日の健康には十分に留意して、１日１日を大切して学校生活を楽しんでください。

この１年間精一杯頑張りましょう。

　以上、式辞といたします。